

第4回山陽小野田市地域公共交通会議
会 議 録

-協議事項-

(1) 山陽小野田市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について

発言者	発言要旨
(事務局より説明)	
会 長	質問・意見等あればお願いしたい。
委 員	第3条について、委員16名以内を削除するということであるが、資料1によると、11名の委員で構成されることになっている。その時々で、委員数が変わるのか。
事務局	要綱では、区分だけで言えば、最低11名で構成することも可能であるが（現在14名）、今回新たに策定を考えている地域公共交通網形成計画においては、バスだけでなく、鉄道も含め市のまちづくりの観点を取り入れることとなっており、それに伴い、JRや市内の都市計画課、観光課の職員等を加え、体制づくりが必要であると考えている。 また、第3条(11)の学識経験者等は、必要に応じて委員に加えたいと考えている。
会 長	第3条(5)住民又は利用者の代表も複数名加え、意見を吸い上げてほしいと考えている。
事務局	現在の地域公共交通会議委員の任期は、平成28年3月31日までであり、市民又は利用者の代表は、現在2名が委員でおられる。 今後検討させていただきたい。
会 長	基本的には、来年度の委員メンバーはこのままで進めていくということでしょうか。それに、委員に鉄道事業者の代表者等を追加するという事か。
事務局	そうである。
会 長	他に何かご意見等ないか。 なければ、承認いただける委員は挙手をお願いしたい。
【委員全員承認】	

-報告事項-

(1) 厚狭北部地域デマンド型交通の利用状況等について

発言者	発言要旨
(事務局より説明)	
会 長	質問・意見等あればお願いしたい。 事務局のほうでデマンド型交通の広報活動を行っているようであるが、まだ開始して2ヶ月であるが利用者が少ない現状にある。
委 員	先程の事務局の説明では、利用者の中にはリピーターが多いということであるが、実際の利用者は何人くらいか。
事務局	事務局で把握しているのは10人程度である。その方が繰り返し利用されている。 事務局では、新規利用者獲得のため、厚狭地区の婦人会や民生委員等の会議に出席し、デマンド型交通のPRを行っており、登録者や利用者を増やしていきたいと考えている。
委 員	現在、週3日で運行しているが、利用者から祭日や日曜日のイベント等に参加する際の交通手段として利用したいという意見がある。厚狭地域内でのイベント時に乗車体験の開催等を考えていただきたい。
事務局	ご意見があったように、例えば、日曜日の厚狭地域内でのイベント時にあわせた乗車体験の実施や、厚狭地域での大きなイベント時に参加しやすいように運行時間を調整する等のサービスも今後検討が必要だと考えている。
コンサルタント	資料2(利用・登録状況)の見方の補足をさせていただく。 人口の登録者の割合を登録率(B/A)、登録者の中から1度でも利用されている方の割合を利用経験率(C/B)とし算出した。 また、登録済みのうち、3回以上利用している方の割合をリピーター率(D/B)としている。 先程の委員の質問については、利用経験者は、殿様号14人、姫様号10人となる。さらに、3回以上利用されている方が、殿様号は14人中4人、姫様号は10人中7人となる。
会 長	のべ利用者数ではなく、利用経験者が、殿様号14人、姫様号10人となっている。その他、意見等ないか。
各委員	(特になし)

(2) 厚狭北部便のダイヤ改正について

発言者	発言要旨
(事務局より説明)	
会 長	質問・意見等あればお願いしたい。
事務局	情報提供について補足をする。利用者へは、2月初め頃から、各バス停と厚狭北部便の車内で変更に関する情報提供を行っている。また、市広報でもお知らせしている。

(3) 山陽小野田市民病院への路線バス乗入れについて

発言者	発言要旨
(事務局より説明)	
会 長	質問・意見等あればお願いしたい。
会 長	今のバス停は残るのか。
事務局	既存のバス停4箇所は残し、山陽小野田市民病院敷地内に新たにバス停を設置する。
会 長	その他、意見等ないか。
各委員	(特になし)

その他

発言者	発言要旨
事務局	4月から地域公共交通網形成計画の作成に取りかかる。 来年度の4月か5月初め頃に第1回交通会議を開催し、地域公共交通網形成計画の策定に取り組んでいきたい。ご協力をお願いしたい。
委 員	参考までに来年度の協議会開催の予定回数を教えていただきたい。
事務局	年に5回程度を予定している。
委 員	P.10（厚狭北部地域デマンド型交通の利用状況等について/今後の方向性）について、アンケート調査を実施することが書かれている。利用していない方も含めてアンケートを実施していただきたい。
委 員	登録者を増やすことも考えてほしい。一度利用していただくとリピーターとなる方が多いのであれば、登録者数を増やし、利用者数の拡がりを考えてほしい。
事務局	登録については、昨年11月頃に対象地域で説明会を約20回ほ

	<p>ど開催した。その時点での登録状況と、運行開始後の登録状況を比較すると、登録者数は増加傾向にある。</p> <p>事務局では、地域での婦人会や民生委員等の会議に出席し、周知を図っており、また、運行事業者も独自で個別訪問されるなどのPRをされている。運行開始当初は、登録者数が少なかったが、2月に登録者数は増加し、3月現在も増加傾向にある。実際に車両に乗り、利用者の方の意見をお聴きしたが、利用者から大変便利であるとの好評をいただいているので、登録後に乗っていただけるよう努力したい。今後、運行事業者、委員の皆様のお力をいただきながら、利用者数の増加を目指す。</p>
委員	<p>まず乗っていただくということで、無料乗車体験の期間を設けてはどうか。</p>
事務局	<p>検討させていただきたい。</p>
委員	<p>便別利用者数をみると、利用が多い時間帯と少ない時間帯がある。これについてダイヤ変更の検討はするのか。</p>
事務局	<p>現在、実際の利用者から色々な意見をいただいている。次年度、アンケート調査を実施し、その結果をもとにダイヤ変更も考えていきたい。</p>
会長	<p>3カ月の実証運行を行い、対応は早めに行ってほしい。</p>
コンサルタント	<p>資料P.7に便別の利用者数や稼働率を表で示している。</p> <p>朝の1便は、病院に行く方の利用を想定し、上り1便の始発時刻を殿様号7:40、姫様号7:50としており、何人かの利用者の自宅を訪問し、8:30頃の病院の開院時刻近くに厚狭市街地に到着するダイヤを設定している。しかし、運行事業者から聴取したところ、朝一便の利用者が想定より少ないことから、早く目的地に到着してしまう状況にある。殿様号では、上り1便の稼働率は13.6%と、想定よりも低くなっている。</p> <p>また、P.6の登録時の需要予測で、1日あたり殿様号11.3人、姫様号7.7人と算出している。</p> <p>これは、利用登録票の中に利用意向を問う欄を設け、想定する月の利用頻度を記入いただき、その回答結果をもとに試算した需要予測の値であるが、現在の利用者数は需要予測値に届いていない状況であるので、次年度にアンケート実施し、改善していくことが必要である。</p>
会長	<p>色々意見を聞きながらより良い方向へ事務局のほうでも進めてほしい。</p>

	せっかく運行を行うのだから、なるべく多くの方が利用されるようをお願いしたい。
会 長	以上で終了。